

## 角田市総合教育会議 会議要旨

会議名	令和4年度第2回角田市総合教育会議
開催場所	角田市役所402会議室
開催日時	令和5年1月19日(木) 午後1時30分～午後2時30分
出席者	16名(別紙のとおり)
事務局	総務部まちづくり政策課
<b>(次第)</b> 1. 開会 2. 開会あいさつ(市長) 3. 協議 (1) 教育関係基金の創設等について (2) 学校給食費の一部無償化について 4. その他 5. 閉会あいさつ(教育長) 6. 閉会	
<b>(会議要旨)</b> <b>3 協議</b> <b>(1) 教育関係基金の創設等について</b> 説明者：玉淵教育次長 説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略) <b>協議要旨</b> ・必要なことであり、ぜひ進めていただきたい。 <b>(2) 学校給食費の一部無償化について</b> 説明者：泉子育て支援課長 説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略) <b>協議要旨</b> ・必要なことであり、ぜひ進めていただきたい。 ・経済的に1人から2人を限界だと感じている人がもう一人を考えられるよう、ぜひ取り組んでもらいたい。 <b>3 その他</b> ・この子育て施策に限らず、全国的に行政が主導で施策が提案されていくのが主流になっている。本来であれば子育てをしている人や若い人たちが主体的に声を上げて施策を提案し、決定していく流れが必要だと思う。主権者教育を浸透させるなど、現状を変えていかなければならない。	

これからの子どもたちは主体的に考え行動できるように育ててほしい。

→学校現場でも主体的に考えるようになってほしいと考えている。しかし、これまでの考えに縛られている現状があり実践できていないが、学校において子供に自ら考えさせ、自分たちで決定できるような機会を預けるべきであり、そのような経験をさせるよう先生方に伝えており、進めていきたいと考えている。

→市の新たな取組みとして、市民の方々の主体的な活動を促すことを目的として、市民提案型まちづくり事業や地域の課題に対応するための2種類のワークショップの開催を予定している。その参加者の中には、角田高校生の申し込みもある。高校生なりの独創的な意見を出してもらいたいと期待している。

- ・市民から声が上がらないのは教育がされてきていないことが背景にある。経験する機会を地域でつくっていくと地域が良い方に向かっていくと思う。

## 令和4年度第2回角田市総合教育会議出席者名簿

### ○会議構成員（6名）

市長 黒須 貫

#### [教育委員会]

教育長 永井 哲

教育長職務代行者 安藤 正夫

教育委員会委員 毒島 弘美

教育委員会委員 大内 啓邦

教育委員会委員 加藤真由美

### ○説明者（2名）

教育次長兼教育総務課長 玉渕 和紀

子育て支援課長 泉 洋子

### ○事務局関係（8名）

教育委員会副理事兼郷土資料館長 齋藤 彰裕

まちづくり政策課長 木村 信幸

給食センター所長 太田 知子

図書館長 宍戸 早苗

子育て支援課長補佐 齋藤 学

まちづくり政策課課長補佐 森 敦

まちづくり政策課企画調整係長 齋藤 謙

まちづくり政策課主事 佐々木 あづさ

(敬称略・順不同)